



「天草で食事と温泉」 日帰りバスハイク報告



～ 天草の大きな海と料理に温泉に大満足!! 今年も激疲れ…?? 珍道中 ～

すっきり快晴の11月26日(土)、2016年度レク行事「天草日帰りバスハイク」を開催しました。この企画は昨年の黒川温泉が好評だったこともあり、「今年は天草の温泉に行こう!」と企画しました。参加した25名(内子供4名)は、ホテルの送迎バスに乗り込み補助席を使ってギュウギュウの状態で出発しました。

ホテルに向かう途中、2箇所の寄り道をしましたので簡単な報告を。

まずはじめに寄ったのが「粟嶋神社」。ここには30cm*30cmのミニ鳥居があり、この鳥居を通ると心身の病氣 平癒・子授け・安産・良縁・厄除け・災難除け・諸業繁栄・など、様々なご利益があると言われております。女性の方は難なく通ることができるのですが、男性は結構きついものがあります。肩をずらしながら少しずつ・・・途中抜けることも戻ることもしないんじゃないかという恐怖・・・何とか抜けることはできましたが、このミニ鳥居、抜けるときにお願いごとをするのだそうで、S氏は抜けることに精一杯をお願いすることを忘れてました。残念・・・



続いて三角西港へ立ち寄りしました。2015に「明治日本の産業革命遺産」の一つとして、世界文化遺産登録が決定したことで、休日になると観光客で賑わう天草の新名所です。石積みの埠頭や水路、そして明治の面影を残す建築物がならぶととても素敵な観光スポットです。海風が少し強く冷たかったのですが、みんな外に出て明治を思わせるハイカラな建物や世界遺産に認定された水路などを見学。



11:15 ホテル松竜園に着き、まずは食事をする大広間に通されました。目の前には昼食の準備が整っており、何時でも食事ができる状態にありました。しかし、ここでまさかの「待て!!」。昼食予定の12:00までは時間がありましたので、温泉に入ったり、ホテル周辺を散歩したりと自由時間を取ることになりました。参加者の目の前には美味しそうな料理が・・・。とはいえ参加者は思い思いに昼食までの時間過ごすことになりました。そしてようやく12:00の昼食タイム。目の前には伊勢海老、ヒラメ、ハマチの活き造り。タコの酢味噌和え、モスク酢、海老の煮付けにフグのから揚げ・・・。まだまだ出てくる。こんな料理が出てくるなら飲まずにはいられない。帰りに車を運転する予定がない参加者は、それぞれにアルコールを注文し海の幸を満喫するのでした。



ちょっと面白い話

昼食メニューには、「活き車海老」が一人一尾ずつ配膳されました。この車海老、非情に生きがいい。皿に載っているときには大人しくせに、いざ食われようとするの大暴れ!! 幾人かの活き車海老初挑戦者たちは、まず海老に触ることもままならず、逆に海老に踊らされていました。また、踊り食いとは残酷なのか、鮑焼きの中に一緒に入れて蒸し焼きにする参加者もいました。踊り食いは踊り食いでも美味しいので、次回はチャレンジしてみてください。

さて食事も終わり15:00までの約2時間は、ゆったりとした休憩の時間になります。温泉でゆっくりするのもよし、海風にあたり散歩するのもよし。そして部屋でゆっくり寝るのも・・・。そんななか部屋ではゆっくりすることもできない恒例の行事が始まりました「ちびっことのお戯れ」。どこからともなく発する子供の悲鳴・・・。S氏との追いかっこが始まり、相撲大会etc・・・。約1時間ほどは、子ども達が疲れ落ちるまでのお戯れ。なぜS氏はこんなに子供たちにすぐ取り入れることができるのだろうか。それはアントニオ猪木名言「馬鹿になれ とことん馬鹿になれ」そう「千ビになれ とことん千ビになれ」、なりきるのである。幸い今回は粟嶋神社のミニ鳥居を通ったことで0歳児に戻ったと仮定すれば、千ビになりきるのには造作もない。お互いにくたにくたになるまで遊び疲れたら本当の休憩。



あっ、温泉については触れていませんでしたけど、ぬめりがある肌にやさしい湯ざわりの温泉は保温効果が抜群で、関節痛や疲労回復、慢性消化器病などに効果があると言われております。また、露天風呂では眼下に天草の湾(島原湾らしい)が一望でき、季節がら温りすぎた体をやさしく海風がつつむ、そんなお風呂でした。前回の黒川温泉レポート同様、SEXY写真が多すぎて掲載はできません。

15:00 ホテルの方からの御好意で、帰りのバスは大きめのバスになり、参加者各自がゆったりと寛ぎながら帰路に着くことになりました。途中、藍のあまくさ村でお土産を買うために休憩をとることになりました。

今年は地震があり、通常業務でさえ普段とは違う環境になったりと、多くの方が見えないところでストレスを感じています。今回参加できなかった方も、組合の野外活動などを利用して仲間と語り癒し合い、少しでもストレスの小さい状態で業務にあたってください。次はどのようなイベントになるかは分かりませんが、満足してもらえるようなイベントを考えますので楽しみに。

レクリエーション部会ニュース	No. 3	熊本大学教職員組合レクリエーション部会
	2016. 12. 1	内線 3529 ku-kyoso@union.kumamoto-u.ac.jp